

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

MAY

Vol. *11*

2023.5



志田焼の里博物館 (日本遺産 佐賀県遺産)

Rotary



ガバナー
月信

2022-2023年度
国際ロータリー第2740地区

ガバナー 上村 春甫

2022－2023年度 国際ロータリーのテーマ



イマジン
ロータリー

index

ガバナーメッセージ	2
2022－2023年度 ガバナーノミニ－・デジグネート選出の報告	4
RYLA委員会よりお知らせ	4
2023－2024年度 地区チーム研修セミナー報告	5
2023－2024年度 会長エレクト・次期幹事研修セミナー報告	6
米山記念奨学生委員会報告	
①2022学年度米山記念奨学生修了式	7
②2023学年度米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション	8
RLI推進委員会報告	9
インターシティミーティング（IM）報告	10
2023年2月会員数・出席報告	15
新会員紹介	16
寄付者紹介	17
肥前國の風景	裏表紙

表紙説明 | 志田焼の里博物館（日本遺産 佐賀県遺産）

志田焼の里博物館は、志田焼を作っていた工場を保存し、博物館としてよみがえらせた施設です。

近くの長崎街道・塩田宿は、江戸時代から肥前國南西部の交通の中心として大いに栄えました。

表紙・本文帯
「月信」揮毫

牛島 征四郎
(佐賀RC)



「青少年奉仕」を思う



2022-2023年度 第2740地区 ガバナー 上村 春甫

新緑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、文字どおり新緑鮮やかな佐賀の風景を見つつ、また、5月5日の「端午の節句」のことなどを考えつつ、5月は若い命の成長を感じさせる月だなあとといったことを思っているところです。

若い命の成長といえば、今月は「若い命」のひとつの象徴である「青少年」の「成長」に「奉仕」することを趣旨とする「青少年奉仕」月間ですので、それについて述べたいと思います。

「青少年奉仕」は、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」と並ぶ「五大奉仕部門」のひとつで、1974年青少年交換プログラム開始、1996年「青少年活動月間」の「新世代のための月間」への改称、2010年「新世代奉仕」の追加による五大奉仕の成立、2013年「新世代奉仕」の「青少年奉仕」への改称という経緯で現在にいたっています。ロータリーは、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和及び異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じ、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされるという

認識を基礎として、インターアクト、ローターアクト、国際青少年交換、RYLA等の青少年のための奉仕プログラムを通じ、

- ①青少年の間での高い倫理基準及び倫理的な意思決定の奨励
- ②青少年のニーズや願望や関心の理解及び認識
- ③青少年への機会の提供
- ④国際ロータリーが提供する人道的、指導力養成、教育関連のプログラムへの青少年の参加の奨励などの取り組みを積極的に行っています。

私も、今年度「地区活動及びクラブサポートの重点項目」のひとつとして「青少年活動の活性化」を掲げました。期初にも述べましたが、私がメディカルサポートをしている、サッカーJ1リーグの「サガン鳥栖」やバスケットB2リーグの「佐賀バルナーズ」で、若い新しい力が加わり以前からのメンバーに刺激を与え、両者の相乗効果により想像以上の結果が出る例を多く見てきたことから、「青少年活動の活性化」はロータリーの発展のために不可欠であるとの思いを強く持ったためです。さらに、インターアクト、ローターアクト、国際青少年交換、RYLA等の青少年関係プログラムの充実等により、若い人を巻き込みロータリー

GOVERNOR'S MESSAGE

に良い意味での化学変化が起きることを期待しましたが、今年度、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、国際青少年交換委員会及びRYLA委員会の皆様におかれては、実に活発にご活動いただき、まさによい化学変化が起きつつあると思っています。改めて、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、国際青少年交換委員会及びRYLA委員会の各委員長及び皆様に感謝申し上げます。

繰り返しになりますが、少子化のことなども考えた時、「青少年奉仕」はロータリーにとって不可欠なものだと思います。今後とも、「青少年活動の活性化」を図り、「青少年奉仕」を充実させていきたいと思っています。

トルコ・シリア大地震 支援金への御礼

ガバナー会事務局を通して、トルコRI2430地区へたくさんの支援金を送ることが出来ました。地区内各クラブの皆様方の御厚意に心より感謝申し上げます。

トルコ・シリア大地震 支援金

地区内クラブ支援金 2,747,174 円

地区ガバナー事務所 500,000 円

送金合計 3,247,174 円

2022-2023年度 ガバナーノミニー・デジグネート選出の報告

ガバナー 上村 春甫

地区ガバナー指名委員会より、協議の上、指名委員の賛同で2025～2026年度のガバナー候補として、辻 幸徳君（唐津ロータリークラブ）を指名した旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条の規定により、ガバナーノミニー・デジグネートとして辻 幸徳君の選出が確定したことをご報告いたします。



つじ ゆきのり
辻 幸徳（唐津RC）

1948年 12月 24日生まれ
株式会社 辻薬店
代表取締役会長

【ロータリー歴】

1995年 1月	唐津ロータリークラブ入会	2005年 4月	ポール・ハリス・フェロー
2004～2005年	唐津ロータリークラブ幹事	2008年 2月	米山功労者
2013～2014年	唐津ロータリークラブ会長	2014年 4月	米山功労者マルチプル
2019～2020年	RI 第2740地区 第4グループガバナー補佐		

RYLA委員会よりお知らせ

✽ RYLA開催のご案内 ✽

今年度、新しくなったRYLA事業を開催します。

ロータリーファミリーが集い学ぶ機会として、プロジェクトベースラーニングの受講研修となります。その内容は、企業家的な精神と資質・能力を育むプログラムです。新しくなったRYLAに参加しませんか？

日 時 : 2023年6月10日(土)～11日(日)
場 所 : ホテル ローレライ (佐世保南風)
受 講 生 : インターアクター、ローターアクト、ロータリアン
テ ー マ : 『羽ばたく青少年！集うロータリーファミリー！』
タイトル : ～会社を作ろう！動かそう！～
講 師 : 宮崎 正志 様 (BizWorldプログラム)
事業担当 : 佐世保西RC・地区RYLA委員会

2023-2024年度 地区チーム研修セミナー報告

次年度地区副幹事 **井上 隆三** (佐世保北RC)

2月18日(土) 14:00~ホテルオークラJRハウステンボスにて、2023~24年度「地区チーム研修セミナー」が開催されました。国際ロータリー第2740地区の次年度ガバナー補佐の方々と次年度地区委員長の方々が一堂に会し、約70名の参加で行われました。

15時より蒲地芳明地区チーム研修セミナー実行委員長の開会の辞でスタートしました。上村春甫ガバナーの挨拶、緒方信行ガバナーエレクトの挨拶、出席者紹介へと続き、緒方ガバナーエレクトより委嘱状交付がなされ、次年度RI・地区運営方針が伝えられました。

セミナー後半では、長崎中央RCの塚崎寛次年度地区研修リーダーによる「地区チームの役割」について詳しくご説明いただきました。

次に、村瀬高広次年度地区幹事より次年度地区運営について説明があり、それに基づいた会計説明を富田耕司次年度地区会計長より行われました。

その後、石坂和彦ガバナーノミニエによる講評が行われ、千葉憲哉次年度副ガバナーの閉会の辞でセミナーは終了しました。

会場を移動し懇親会が開催されました。村瀬次年度地区幹事・ホストクラブ会長の挨拶があり、野口清パストガバナーの乾杯にて開会しました。次年度に向けて交流、意見交換など行われ、終始和やかな雰囲気の中で楽しい会でした。全員で「手に手つないで」を合唱し、最後に松田信哉ホストクラブ会長エレクトの閉会の辞をもって終了しました。

地区チームセミナー開催にご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。



2023-2024年度 会長エレクト・次期幹事研修セミナー報告

次年度地区副幹事 渡会 祐二 (佐世保北RC)

3月19日(日)にホテルオークラJRハウステンボスにて、佐世保中央RCをホストクラブに、2023~24年度「会長エレクト研修セミナー」及び「次期クラブ幹事セミナー」(以下「PETS」と略称)が開催されました。当日は、地区関係者、各クラブの次年度会長・幹事の合計約150名にご参加いただきました。

佐世保中央RCの牛島義亮PETS実行委員長の開会の辞で研修はスタートしました。前半は、上村春甫ガバナーのご挨拶の後、緒方信行ガバナーエレクトより、次年度へに向けてのガバナーエレクトの方針が伝えられました。

セミナー後半では、まず長崎中央RCの塚崎寛次年度地区研修リーダーによる「クラブ会長の役割」のセミナーが行われ、会長の役割を分かりやすくご説明いただきました。

次に、RI第2660地区パストガバナーで2021・22年RI研修リーダーの四宮孝郎様(大阪西南RC)による「変えてはならないロータリー・変えなければならないロータリー」(クラブ活性化のために)をテーマにセミナーが行われました。四宮様のロータリアンとしての豊富な経験に基づく貴重な講演がなされ、参加者はそのお話に聞き入り、あっという間の時間(50分)だったと思います。

その後、村瀬高広次年度地区幹事から次年度地区運営について、また富田耕司次年度地区会計長から次年度地区会計について説明がなされました。

そして、石坂和彦ガバナーノミニ(大村RC)による講評が行われ、セミナーは終了しました。

今回は懇親会も開催され、村瀬次年度地区幹事の挨拶、千葉憲哉次年度副ガバナーの乾杯にて開会しました。次年度に向けて地区役員・各クラブ間の交流が図られたと思います。終わりに「手に手つないで」を全員で合唱し、佐世保中央RCの前田真澄会長による締めのご挨拶をもって終了しました。

充実した素晴らしいPETSが実施できたと思います。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



米山記念奨学委員会報告

米山記念奨学委員会 委員 青野 悠 (長崎中央RC)

◆ 2022学年度 米山記念奨学生修了式

2023年3月4日(土) L&Lホテルセンリユウにおいて、国際ロータリー第2740地区2022学年度米山記念奨学生修了式が開催されました。

当日は、上村ガバナーによるお祝いの言葉に始まり、奨学生への修了証の贈呈、カウンセラーへの感謝状の贈呈が行われました。その後の歓送会では、継続学生によるアトラクション、カウンセラーと奨学生から、それぞれスピーチをいただくなどして、皆さんで楽しく過ごされました。

奨学生は、奨学金によって勉学や研究へ専念できたことはもちろん、カウンセラーやお世話クラブから受けたおもてなし、アドバイス等に対する感謝の言葉を述べており、カウンセラーの皆さんもまた、奨学生との出会いに対する感謝の弁、カウンセラーを引き受けてよかったという感想を述べておられました。

奨学生達は、本事業が各クラブの皆さまからいただく寄附によって成り立っていることを十分に理解しており、今後、日本と母国を結ぶ懸け橋として活躍していくことでしょう。今後も、歴史ある本事業が末永く継続できるよう、各クラブの皆さまにおかれましては、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



米山記念奨学委員会報告

米山記念奨学委員会 委員 三谷 秀和 (佐世保北RC)

◆ 2023学年度米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション

このたび、標記オリエンテーションに参加しましたので、下記のとおりご報告いたします。

日 時 2023年4月8日(土) 10:00~

場 所 諫早文化会館 2F

【内 容】

地区役員、米山カウンセラー、学友会、地区委員会32名、米山記念奨学生16名が一堂に会しオリエンテーションが行われました。

午前は奨学生とカウンセラーそれぞれでオリエンテーションが行われました。午後は千葉憲哉次年度副ガバナーから挨拶が行われ、駒井英基パストガバナーから米山記念奨学事業について、松田洋一地区委員長から2023-2024年度の予定についてそれぞれ説明が行われました。

米山記念奨学事業に携わる方々と本年度の方向性などを共有でき、よいスタートとなったオリエンテーションでした。



RLI推進委員会 RLI研修会報告

RLI推進委員会 委員長 吉岡 義治 (佐賀南RC)

2月5日(日曜日)にRLI研修パートⅠ、3月5日(日曜日)にRLI研修パートⅡを、そして4月2日(日曜日)にRLI研修パートⅢをZoomにて行いました。

3日間とも、まる1日をかけての研修会でしたが、20名の方に修了証書をお渡しすることができました。

それぞれ10時から16時半まで6セッションの研修カリキュラムで行いました。

パートⅠは全体テーマが“ロータリアンとしての私”という事で、ロータリアン一人一人が学ぶべきテーマで各セッションが構成されています。

皆さんのロータリーへの思いや、仕事への情熱など多岐にわたる意見なども取り入れ、進行了しました。

パートⅡは全体テーマが“私達の所属するクラブがより効果的クラブに成長するための課題”が各セッションテーマになっていた為、入会間もない方からベテラン会員まで活発な意見が飛び交い盛り上がりました。参加者自身のクラブへの思いだけでなく、RIがどのように考えて将来への方針を打ち出しているのかを、討議しながら考える有益な時間だったと思います。

そしてパートⅢでは全体テーマを“私のロータリーの旅”とタイトルが付いているように、パートⅠとパートⅡでの学びをもとに、より幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶ『旅』となっています。そして、そのゴールは私たち一人一人のロータリアンとしての成長とロータリー観の確立です。

各セッションはファシリテーション形式によるロータリーの学習です。

参加者だけではなく、進行役のDL(ディスカッションリーダー)も一緒に学習し、成長していきます。

昨今、RIは各クラブへクラブの将来への指針となる“ロータリー戦略計画”を立てることを推奨しています。

21世紀に入り、“中核的価値観”、“ロータリー財団の6つの重点分野”などと表現方法が少し変わり、戸惑うことや、以前のロータリーとは変わったなど、今後のRIに対し、不安感や不満をもっていらっしゃる方も多いのではないかと思います。

しかしロータリーは時代と共に順応していきます。が、“基本理念”はわかりません。

我が2740地区の昨年の会員数を見てもわかりますが、1年間に200人近く入会していますが、200人近くが退会しています。

せっかく入会しても、ロータリーの本質も知らずに多くの会員が辞めていきます。

受講者の皆さんは、RLI研修の成果をぜひともクラブに持ち帰り、いろんな場面に役立ててクラブを盛り上げて欲しいと思います。

私が敢えて言うまでもなく、皆さんの会社ではすでにファシリテーションを取り入れていらっしゃるものだと思います。

「みんなで決定の過程を共有しよう」というのがファシリテーションの目的です。

RLIはロータリーにおけるファシリテーションを学習する場です。

RIもロータリー戦略計画の一環としてRLI研修を推奨してきました。

これをクラブに取り入れ、ロータリーを正しく語り、ますますロータリーを好きになり、それがクラブの活性化・会員増強・退会防止につながるものだと確信しております。

第7・第8グループ IM報告

第7グループガバナー補佐 里脇 岩男 (大村東RC)

令和5年2月12日(日)、国際ロータリー第2740地区第7・第8グループIM(インターシティミーティング)が、島原市のシーサイドホテルで島原ロータリークラブがホストクラブとなって、開催されました。

今回のIM開催にあたり、令和4年8月からコロナ禍の中、IM開催の賛否を検討しました。

実行委員会の準備のこともあり、早めの決定を必要としていましたので、実施できるかどうかを検討しているよりも、2年間の中止を考えれば8月の時点では実施することで委員会は準備しましょうと言うことで、開催を前提として前に進むことにしました。

9月に入ってから、島原ロータリークラブのIM大会会長等と連絡を取り合い、講演、講話を頂く方々のお願いにまわり、駒井英基パストガバナー、佐賀南ロータリークラブの吉岡義治さまに講演の快諾を頂き、合わせて大分県鷹取神社の矢野大和様には口演の快諾を頂きIMの実施に向けての準備が一步前進の状態ができました。

駒井パストガバナーと吉岡義治様には、魅力、元気、個性あるクラブ作りに必要な「ロータリーにおけるリーダーシップとは」をテーマに、ロータリアンとしての、思いやり、心構えに付いて真剣一途の講話をしていただき、矢野大和様には、『笑って元気～生涯現役のススメ～』と題して口演をしていただき、今日と昭和時代の考え方や教育の違いを聞き手の皆が笑いを交え、首を縦に振って講話に聞きハマっていました。…後にあんなお話好きの宮司さんをお願いできましたねと、喜んでいただきました。島原ロータリークラブ実行委員の皆さまが努力された結果です。

ご参加のみなさんには二つの講演(口演)、大いに学び、笑い楽しんでくださったのでは。

今回のインターシティミーティングは、第7・第8グループ会員皆様の、意識の高揚、また会員相互の深い親睦の場となったのではと考えています。

参加いただいた会員の皆様本当にありがとうございました。

ホストクラブ会長 吉田 清隆 (島原RC)

去る令和5年2月12日(日)、ホテルシーサイド島原にて第2740地区7・8グループIMを開催いたしました。上村春甫ガバナーをはじめ多くのパストガバナーにご参列いただき、200余名の会員が一堂に会しました。

「魅力・元気・個性あるクラブを『想像』して『創造』する」をテーマに、コホストクラブの島原南ロータリークラブと協力して、無事に開催までこぎつけました。

第1部では、駒井英基PGのご指導の下、RLI推進委員長吉岡義治様を中心としたパネルディスカッションで頭を使いました。第2部では矢野大和(たいわ)様の「口演」で会場は爆笑の渦に包まれ、お腹の筋肉を使いました。

また、懇親会前には、ガバナーを中心に「鏡開き」、各クラブ記念撮影会を実施。懇親会には、参加者ほぼ全員のご出席を賜り、「FUGEN」の皆様のすばらしい三味線の音色を聞きながら楽しいひと時を過ごすことができました。最後までほとんど途中退席する方もなく、感動的な「手に手つないで」で無事フィナーレを迎えました。

これもひとえに何度も当地まで足を運んでご指導いただいたガバナー補佐(第7G里脇岩男様、第8G久保泰正様)のご指導のたまものと痛感しております。そして最後に、ロータリアンの皆様本当にありがとうございました。以上



第9・第10グループ IM報告

第10グループガバナー補佐 **鶴田 修** (長崎出島RC)

今年度のIMは2月19日(日)に長崎南RCをホストクラブとして、長崎東RCをコ・ホストクラブとして、本会議を2021年11月にオープンした出島メッセ長崎で、懇親会をホテルニュー長崎で開催され無事に終了することが出来ました。

過去2回のIMは長崎北RCがライブ配信とリアル、福江RCがリアルでの開催となりましたが残念ながら懇親会は中止となり懇親を深めることはできませんでした。

そうした中、今回のIMはホストクラブの長崎南RCが石丸会長、中川幹事並びに中牟田実行委員長のもとコロナの感染状況を勘案しながら最後の最後まで懇親会の開催の是非を協議されて、最終的に開催が決定されコロナ対策を講じて通常のスケジュールで開催することが出来ました。

第1部は文化シンポジウムで「長崎を語る」というテーマで3人の先生方によるお話でそれぞれの視点で長崎を語っていただき、改めて長崎の歴史や文化を客観的で多面的に考える必要があると認識した次第です。また第2部では着席スタイルで久しぶりのハミングバーズの歌とその後の懇親会、皆さん本当に喜ばれて帰られました。これも長崎南RC全員のホスピタリティとチームワークの賜物と感謝申し上げます。

来年もコロナの感染が再度拡大しない限り、第9・第10グループのロータリアンが集い、学び、楽しい懇親の場となります様祈念致しましてIMの報告とさせていただきます。



第5・第6グループ IM報告

IM実行委員長 馬場 貴博 (佐世保中央RC)

◆ インターシティミーティングを終えて

令和5年2月23日に開催いたしましたインターシティミーティングの報告を致します。

初めに2740地区ガバナー上村春甫様、パストガバナー福田金治様、パストガバナー千葉憲哉様、千葉まさこ令夫人、地区幹事 山下雄司様の御来賓を御迎えして開催いたしました。

当日は第5第6グループより407名の御登録を頂き懇親会には172名の御参加を頂きました。13:30より開会し「不易流行ロータリーは何処へ・・・」のメインテーマを基に第1部 わがクラブ自慢から始まりました。冒頭にロータリークラブの創設時を想像し佐世保中央ロータリークラブのパスト会長をはじめとする迷俳優陣が1905年のシカゴを彷彿させるドラマを見て頂き場内は瞬時に喝采の渦に巻き込まれる熱気の中にスタートいたしました。ここでは第5第6グループの11クラブの特色・クラブが力を入れていることなど文字通り各クラブの自慢できるところを紹介して頂きました。流石に各クラブはパワーポイントや動画プロの作成したプロモーションビデオの様に感じられ今回のIMに対する思い入れが凄く感じられました。引き続き第2部は各クラブの幹事様をパネラーとし今回のIM実行委員会が作成した事前アンケートの結果を基にパネルディスカッションを開催しました。アンケートの内容はこの3年間コロナ禍の中でクラブ運営の難しさの中、各会員がどのように感じていたか、又クラブがどのように運営されていたか、第1部のクラブ自慢をみてどんなことが参考になったか、ここ近年の定款変更を皆さんがどう感じているか、等々多岐にわたりパネラー・参加者・来賓者の意見を交換いたしました。このパネルディスカッションは事前に質問事項は開示せずに当日の会員の生の声を聞かせて頂きました。

各クラブにはクラブの特色があり声があります。ただロータリークラブ創設より現在まで既に100有余年という時間が流れています。変えてはいけない普遍的なもの、しかし時代の変化により変わらなければいけないものもあると思います。「不易流行」今回のインターシティミーティングのテーマはコロナ禍を生きるロータリークラブの各会員にとって一番重要なテーマであったと確信します。今回のIMが新しい形のIMとして感じて頂けたら幸いです。

最後に今回のIMに際して多大なるご協力を頂いた第5第6グループの皆様のロータリアンとしての友情に深く感謝を申し上げて今回の報告にいたします。



第4グループ IM報告

第4グループガバナー補佐 **熊川 嘉秀** (唐津西RC)

◆ 波乱続きだった第4グループのIM

現在3月11日の午後4時、IMが終了した直後です。

自宅に戻って無事にIMが開催出来て閉会まで終了した事にホッとしています。

世間的なアンラッキーマン、ロータリアン的には素晴らしい巡り合わせの星の下に生まれてきた男とまで言われる私には不思議な事にロータリーに於いて重要な立場になっている時に限って驚くような大きな試練が押し寄せてくるという事態になるのです。

今回もガバナー補佐を拝命した時から新型コロナウイルスの流行具合によって開催を左右されてしまう懇親会を排除して、基調講演をメインとしたどんな状況下でも開催出来る時短のIMの開催を行うと決めておりました。

そこまで考えての時短IM作戦だったにもかかわらず、開催予定の3週間前に私は緊急手術と入院1ヶ月という事態に、病床よりガバナー補佐経験者にIM時のガバナー補佐代理として開催して頂くようお願いする事となりました。

幸いな事に予定よりも早い僅か2週間で退院する事となり代理ではなく当初通りに私が出席で再調整している最中、今度は講評をお願いしていたPGが体調不良で入院との情報が入り、更には開催3日前になって基調講演をお願いしていたPGから出席不可能になったとの連絡まで入って開催を危ぶまれる事態に追い込まれてしまいました。

実行委員会で話し合った結果、中止はせずに自分達が出来る範囲で開催しようという結論に至り、当日に自分達で出来る事で勝負という事になったのです。

今回も通常のIM開催ではとても体験出来ない貴重な試練があつて、無事に乗り越える事が出来ました。

最後に一緒に苦労して頂いた実行委員会のメンバーと参加して頂いた全ての方へ感謝申し上げます。



第3グループ IM報告

IM実行委員長 緒方 良二 (太良RC)

令和5年3月25日(土)、ホスト:太良ロータリークラブ、コ・ホスト:大町ロータリークラブおよび鹿島ロータリークラブの共催にて開催されました。当日は、前夜の大雨も真っ赤なスーツ着用(還暦の友人等からのプレゼント)の秀島寛ガバナー補佐の意気込みで雨雲を吹き飛ばして、桜の花も咲き始めた春の晴天となりました。コロナ禍で延び延びになっていましたが、やっと開催することが出来ました。

式典は上村春甫ガバナー、花島光喜パストガバナーおよび山下雄司地区幹事を迎え、太良町自然休養村管理センターのホールで行われました。ホストクラブ田嶋征光会長の点鐘で始まり、上村ガバナーよりご挨拶を賜りました。基調講演は太良町在住の元佐賀県有明水産振興センター長、前太良町歴史民俗資料館館長の野口敏春様による「有明海と海苔養殖」というテーマで、海苔だけでなく有明固有種の生物などのお話も拝聴出来ました。

懇親会は場所を移して割烹「ひさご」であり、花島パストガバナーによる乾杯のご発声でスタートしました。日本舞踊、歌謡そして中国変面ショーもあり、その後カラオケも始まりました。ロータリアンの親睦が益々深まったようです。植松信安次期ガバナー補佐の万歳三唱で終演となりました。

コロナ禍で再三の延期となっておりますが、少人数の当クラブで無事に開催出来たことに喜びを感じております。ご協力ならびにご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



2023年2月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第1グループ	佐賀	4	82.2	74	6	77	7	1	0	1	3
	小城	3	70.2	29	4	28	4	0	0	0	-1
	牛津	2	86.9	30	0	32	0	0	0	0	2
	多久	4	62.3	34	5	35	6	0	1	-1	1
	佐賀大和	2	75.9	26	5	28	5	0	0	0	2
小計		75.5	193	20	200	22	1	1	0	0	7
第2グループ	佐賀西	4	72.3	41	4	42	4	0	0	0	1
	佐賀北	4	68.7	44	3	43	3	0	1	-1	-1
	佐賀南	3	70.9	36	3	39	5	1	1	0	3
	神埼	4	87.0	35	4	38	4	0	0	0	3
	佐賀空港	3	70.5	17	0	17	0	0	0	0	0
小計		73.9	173	14	179	16	1	2	-1	-1	6
第3グループ	有田	3	71.0	31	2	31	2	0	0	0	0
	武雄	4	81.9	43	2	44	3	0	1	-1	1
	鹿島	4	74.2	30	3	31	4	0	0	0	1
	嬉野	4	82.1	27	1	26	1	0	1	-1	-1
	大町	3	62.5	14	0	16	0	0	0	0	2
	太良	2	100.0	9	0	9	0	0	0	0	0
小計		78.6	154	8	157	10	0	2	-2	-2	3
第4グループ	唐津	4	86.2	57	0	54	0	0	0	0	-3
	伊万里	4	84.1	31	0	28	0	0	1	-1	-3
	唐津東	3	86.6	48	0	50	0	0	0	0	2
	唐津西	4	86.8	28	0	27	0	0	0	0	-1
	伊万里西	3	96.9	36	1	38	2	0	1	-1	2
	唐津中央	4	75.9	35	5	35	5	0	0	0	0
小計		86.1	235	6	232	7	0	2	-2	-3	
第5グループ	佐世保	4	78.8	74	0	73	0	0	0	0	-1
	平戸	3	81.0	24	1	23	3	0	0	0	-1
	北松浦	4	87.0	22	0	23	1	1	1	0	1
	佐世保西	4	76.0	22	3	23	4	0	0	0	1
	松浦	4	85.6	25	1	27	1	0	0	0	2
小計		81.7	167	5	169	9	1	1	0	2	

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第6グループ	佐世保南	3	100.0	59	1	62	2	0	0	0	3
	佐世保東	3	80.5	24	0	23	0	0	0	0	-1
	佐世保北 (衛星クラブ)	4	100.0	50	4	54 (11)	5	0	0	0	4
	佐世保中央	2	83.2	48	1	52	2	0	0	0	4
	佐世保東南	4	61.0	34	1	32	0	0	0	0	-2
	HTB佐世保	4	80.7	22	3	24	3	0	0	0	2
小計		84.2	237	10	247	12	0	0	0	10	
第7グループ	大村	4	92.6	40	4	40	4	0	1	-1	0
	島原	4	88.3	29	2	29	2	0	0	0	0
	大村北	4	88.5	26	1	26	1	0	0	0	0
	島原南	3	66.0	15	0	15	2	0	0	0	0
	大村東	3	81.0	34	4	35	4	0	1	-1	1
小計		83.3	144	11	145	13	0	2	-2	-1	
第8グループ	諫早	4	76.3	73	0	76	0	1	1	0	3
	諫早北	3	72.0	78	4	79	4	0	0	0	1
	諫早西	3	99.4	50	1	55	2	1	0	1	5
	諫早多良見	4	87.5	28	0	29	1	0	0	0	1
	雲仙諫早南	2	55.0	18	6	20	6	0	0	0	2
	小計		78.0	247	11	259	13	2	1	1	12
第9グループ	長崎	3	96.2	59	0	61	0	0	0	0	2
	福江	2	93.5	29	0	30	0	0	0	0	1
	長崎北東	3	79.1	38	2	39	2	0	0	0	1
	福江中央	2	90.6	16	1	17	1	0	0	0	1
	長崎西	3	81.1	35	0	36	1	0	0	0	1
	長崎琴海	3	61.1	7	0	7	0	0	0	0	0
小計		83.6	184	3	190	4	0	0	0	6	
第10グループ	長崎北	3	81.9	73	0	76	0	1	0	1	3
	長崎南	4	83.8	70	0	67	0	0	0	0	-3
	長崎東	4	80.2	37	1	37	1	1	0	1	0
	長崎みさと	4	80.2	28	0	29	1	0	0	0	1
	長崎中央	3	90.2	50	1	47	1	0	0	0	-3
	長崎出島	3	81.9	71	8	73	8	0	0	0	2
小計		83.0	329	10	329	11	2	0	2	0	
55クラブ合計			81.0	2,063	98	2,107	117	7	11	-4	44

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は
2022年7月1日から2023年2月末までの増減です。

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に記載させていただきます



佐賀 R C

谷 政司 君
(株) J T B 佐賀支店
支店長



佐賀南 R C

古川 和美 君
BEAUTY SALON ふるか
代表



北松浦 R C

湊 浩二郎 君
社会福祉法人長崎友愛会
理事長



諫早 R C

大野 幸雄 君
(株) 菊法社
代表取締役



諫早西 R C

サルヴァドーライ 美奈子 君
(株) Comin'かみん
代表取締役社長



長崎北 R C

村中 恵樹 君
(株) エムエスケイ
統括部長



長崎東 R C

鵜殿 裕之 君
(株) バンク・ビジネスファクトリー
第二業務部長兼長崎事業運営部長

物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



伊万里西 R C

松本 直大 君
享年81歳



武雄 R C

光武 信雄 君
享年75歳

寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団			米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名	種 類	氏 名	クラブ名
マルチプル ポールハリスフェロー	山下 功	武雄	米山功労者 メジャードナー	福元 裕二	佐賀北
	花田 晴年	武雄		朝永 春郎	松浦
	平岡 清宏	武雄		小川 春彌	長崎南
	井手 静雄	武雄	米山功労者マルチプル	山浦 義行	伊万里
	井上 俊正	武雄		武井 隆	佐世保西
	谷川 大志	武雄		竹本 慶三	佐世保中央
	山本 浩平	松浦		牛島 義亮	佐世保中央
	田中 省二	佐世保西		田雑 豪裕	佐世保中央
	田代 博之	佐世保中央		四元 清安	佐世保中央
	筒井 琢磨	佐世保中央	米山功労者	山下 功	武雄
	川上 仁哉	佐世保中央		井手 芳彦	佐世保西
岡田 金助	HTB佐世保	山口 裕之		佐世保中央	
		香月 章彦		佐世保中央	
ポールハリスフェロー	陣内 弘子	多久	米山功労法人	(株)大山	諫早西
	鬼橋 正敏	武雄	米山功労クラブ	/	佐世保西
	山本 君子	松浦			諫早西
	山田 浩文	長崎北			長崎南

ポリオ・ワンコインBOX報告

今月分BOX金額

累計金額

470,959

2,690,693

初めてのショートドキュメンタリー制作

大学が授業外で提供するワークショップに参加

今回は私が授業とは別で参加したワークショップ(WS)についての報告です。イーストアングリア大学の国際開発部では実践スキルの向上を目的に、開発学に関連した複数の専門プログラムが提供されています。デジタル地図の作成やグラフィックデザインなど様々なものがある中で、私が選んだのは「フィルムメイキング」。映像業界で活躍する講師を招き、映像制作のノウハウを学ぶ内容でした。新聞記者としての経験から写真撮影の心得はあるものの、映像制作については全くの素人。自分の表現の幅を広げる絶好の機会だと考え、参加を決めました。

3分間の映像作品の企画を英語で説明

WSは座学1日、取材・撮影1日、編集1日というタイトなスケジュールで、最終的には3分間の映像制作が課されます。流れは、15人の参加者がそれぞれ企画を持ち寄り、コンペティションで4つに絞った後にチームを組んで作業を進めるというものでした。言語の壁、住み始めて日が浅い地域という条件の中で、私が思い付いたのは、学生が大学内で受け取る郵便物に焦点を当てる作品。小包み一つ一つから垣間見える学生の人生を見つめようと考えました。英語での企画意図の説明は大変だったものの、取材の実現可能性など総合的な判断で、4つのプロジェクトの一つに選ばれ、ディレクターとして仲間2人を率いて取材を開始しました。

きっかけは実家から届いた贈り物

そもそもこの企画を思いついたきっかけは、長崎の両親から届いた荷物でした。数か月ぶりに見る母語で書かれたLサイズの段ボール。1万9000+。近い長旅で少しヨレヨレになった側面には<島原(SHIMABARA)>と故郷の切手が貼ってありました。箱を開ければ、日清カップヌードルや松茸の味お吸い物、鍋の素など私の好きなものが詰まっていました。国際郵便というのは手続きが面倒で、内容物を英語で記載しないとダメです。両親が慣れない英語で作業を進めてくれたことにも頭が下がる思いでした。



郵便物というのは常に誰かの思いが込められているし、そこには必ずヒューマンストーリーがあると思います。一人暮らしを始めたばかりのイギリス人学生も、遠い国からの留学生も、家族から送られてくる郵便物をいつも楽しみにしています。それは「日常の中の小さな幸せ」なのかもしれませんが、孤独な時に心の支えになるものでしょう。

今回のショートドキュメンタリーでは、そんな「小さな幸せ」を一つ一つの郵便物から見つめたいと考えました。当初はそれぞれの郵便物から見える多様性や国

籍の違いについて考える作品にするつもりでした。しかし、取材の過程で見えたのは「国籍が違って贈り物は人を幸せにする」という点。最終的には違いではなく、共通点に目が向きました。



嬉しかった友人の言葉

結果として嬉しかったのは、イギリスの公共放送BBCのナイジェリア支局出身の友人から「4つの作品の中で、君の作品がナンバーワンだ」と言ってもらえたこと。一緒にチームを組んだ仲間たちにも大感謝です。最終的には内容が評価され、大学の公式YouTubeチャンネルにも投稿されることになりました。映像の魅力を知った3日間でした。動画は下記URLから視聴可能なので、是非とも御覧あれ。
<https://www.youtube.com/watch?v=X5uZdzKhO68>



肥前國 の 風景

唐泉山

〔佐賀県嬉野市〕

佐賀県南西部の嬉野市にある姿の美しい山で、いずれの方向からも円錐形に見えることから「肥前小富士」又は「藤津富士」とも呼ばれています。

その山頂には、八天神社上宮が鎮座し神域となっています。



編集後記

今年も早いもので5月となり、ロータリー年度も残すところ1ヶ月となりました。

各地区において多くのIMが開催され、有意義な活動となっています。さらには次年度への引継ぎなどの行事も行われていることと思います。これからも多岐にわたるより多くの記事の寄稿をお待ちしています。(吉)

国際ロータリー第2740地区
ガバナー事務所

〒849-0913 佐賀市兵庫町大字淵4604-1
TEL 0952-37-3138 FAX 0952-37-3139
E-mail ri2740uemura@shunyoukai.jp
URL <https://rotary2740.jp/>

